



体協だより

第2号

発行／平成25年 1月 7日

一般社団法人小平市体育協会

ホームページ

編集／広報部会 発行責任者／小川 潔

<http://www12.ocn.ne.jp/~k.taikyoi/>

連絡先／042-349-1350(体育協会事務局)



平成二十五年新春を祝して

会長 小川 潔

新春のお慶びを申し上げます。健康でスポーツに親しめる健全な年でありますよう、お祈りします。



昨年は、体育協会にとって大きな発展期でした。市から初めて受託した九つの事業の内二事業を残して完遂することが出来ました。これは市民の皆様の積極的な参加と、加盟団体と体育課の強力な支援の賜であり、深く感謝いたします。

なかでも、受託事業として初めて実施した「第二十三回市民スポーツまつり」は、午前中は悪天候でしたが、進行が遅れても実施し、市民の皆様に楽しみを提供したいと考え、プログラム全てを実施しました。小平市制五十周年を記念した企画でもありました。高校、大学の吹奏楽、チアガール、ヒップホップ、市民のレクダンスも好評でした。パラリンピックの競技種目の紹

介と体験、金メダリストの実技披露等、すべてが皆さんの関心と呼んでいました。

小中学生の対抗リレーは例年の通り応援で盛り上がりました。中学陸上部が参戦したアスリートによるリレーは圧巻でした。

年明けには「新春歩け歩けの集い」、そして「第三十三回こらいら市民駅伝大会」が行われます。小平警察や諸機関の協力と支援を得て、盛大に成功させたいと思います。

平成二十五年度の事業も益々充実したものにすべく努力したいと思っておりますのでご期待ください。

第三十一回小平グリーンロード歩こう会

とき 平成二十四年四月二十二日(日) 午前九時受付

コース 小平グリーンロード一周 二十一キロ

主催 小平市体育協会・小平市教育委員
会・小平市民憲章推進



協議会健康なまち専門部会
参加者 二百二十九人

平成二十四年度の健康づくり事業のトップバッターとして開催した『小平グリーンロード歩こう会』は、コース内7カ所から自由に受付・スタート・終了することができ、誰もが自分の体力に合わせて参加できる事業です。



この『歩こう会』は健康増進のためのきつかけづくりとして始まり、子どもから高齢者の方まで多くの市民の方が参加しています。また、小平グリーンロードは、ひとりでも安心して自由に歩くことができる、玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道を結び、小平市域を一周する、水と緑の散歩道です。武蔵野の雑木林など自然に触れながら散策することができ、『美しい日本の歩きたくなるみち五百選』にも選ばれています。今回は、天候に恵まれず途中から雨に降られましたが、参加者の

ほとんどは、完歩していました。屋外の事業は天候に左右されますが、市民が期待する健康づくり事業の一つでもあります。今年度から体育協会が受託した九つの事業の一つで、体育協会が受託したことで、今後さらに、市民ニーズに即した市民目線での事業展開をして行きたいと思えます。

第一回ジュニア育成講習会

月 日 平成二十四年七月十四日
(土)

時 間 午後二時〇〇分～三時三〇分
場 所 市民総合体育館第二・三会議室

講師 永嶋 純先生 健康管理士(大塚製薬所属)
メインテーマ 『スポーツ活動時の熱中症対策と救急処置』
サブテーマ 「スポーツ時の正しい水分補給とバランスの良い食事の大切さ」



この研修会は、「ジュニア育成地域推進事業」として実施したもので、対象

者は、各種スポーツ活動団体の指導者などでした。

普段からジュニアの指導・育成に携わっている参加者たちは、このような症状の子供たちに遭遇する機会が多くありますので、みんな真剣に講演に耳を傾けていました。この日の参加者は、五十一名でした。



トップアスリートによるランニング教室

とき 平成二十四年九月十七日
(月・祝)

ところ 中央公園陸上競技場
講師 金 哲彦氏 東京経済大



学陸上競技部のアドバイザー。早稲田大学時代は箱根駅伝に四年連続して出場し、優勝に貢献

した選手であり、マラソン中継などでの解説者としても活躍されています。東経大陸上部の選手一〇名も指導に参加してくれました。

参加者 午前 小学生四〇名
午後 中学生四十五名
概要 午前中の小学生の殆んどは、速く走れるようになりたいという目的で参加していたようです。途中でわか雨が降ったりしました。が、熱心に指導を受けていました。



午後の部は、中学校の陸上競技部の生徒が中心で、普段の練習で心掛けた基礎技術を熱心に受講していました。

第二十三市民スポーツまつり

とき 平成二十四年十月七日
(日)

朝から雨が降るお天気の中、第二十三回市民スポーツまつりが幕を開けました。リレーの実施についての問い合わせなどに事務局はてんでこ舞い。「実施します」とお

答えするも、天気の回復が遅れやきもきしました。

体育館内で開催された開会式には小平市長ほか多くの来賓が訪れました。



引き続き館

内で、創価高校吹奏楽部の迫力ある生演奏、高齢クラブの楽しいレクダンス、東京経済大学のチアリーダーたちの目の覚める演技、白梅学園高校の可愛いヒップホップダンス、が披露さ



れました。大勢の観客が見守り、声援を送り、また楽しみました。

最後に演技者、観客全員で、東京ドロンパ、コダレンジャ



い、ゆりーとな
どの着ぐるみ達
と一緒に“ゆり
ーとダンス”を
楽しみました。

午後にはどう
やら雨も上がり
晴天の中で予定
していたキック

ターゲットやストラックアウト、
スピードガンなどのイベントも開
催することができました。今年初
登場のふわふわドロンパには長い
行列が出来ていました。

待望の四百メ
ートルリレーは
トラックも乾き
開始時刻が遅れ
ましたが無事終
了しました。体
育協会の新入職
員金田さん（百
メートル）〇秒

台の記録を持つ）と陸上仲間の四
百メートルリレーの披露、パラリ
ンピック金メダリストの小川睦彦
選手の自転車模範走行も披露され
花を添えました。

また、通日開催した、障害者ス
ポーツのポッチャーも大好評でし



た。

市民のお楽
しみの一つで
あったパン食
い競争がなく、
「残念でした」
の声が聴かれ
ました。

体育協会の

PRコーナーにも多くの市民が立
ち寄り、加盟団体のPR誌を持ち
帰っていました。ご希望のスポー
ツ団体が見つかると思います。
市民スポーツまつりには、二千
八百五十八名の参加があり、例年
より五百名ほど多くの市民で賑わ
いました。

第一回体育協会セミナー 「ヨーガ体験教室」

月 日 平成二十四年十一月十日
(土)

時 間 午後二時～四時

場 所 市民総合体育館第三・四

体育室

講 師 小坂京子先生 健康運動

指導士・健康運動実践指

導者・日本フィットネス



協会ADI認定トレーナー・ヨーガ
指導者養成講師

小坂先生
のヨーガ体
験教室は過
去にも開催
した事があ
り、参加者
数も多く、
非常に人気
のある研修



会です。今回も、一般参加者の応
募が非常に多く、加盟団体の参加
者と合わせ、「九十二名もの参加
者がありました。

参加者の多くは、とても気持ち
良さそうに、先生の指導のもと、
いろいろなポーズをとって楽しそ
うにヨーガを体験しているようで



した。研修終
了後、この教
室の回数を増
やすことや継
続を望む声も
数多くあり、
人気の高さを
物語っていま
す。

第三十七回小平～多摩湖 歩け歩け会

と き 平成二十四年十一月十八
日(日)

受付 花小金井駅南口・小平駅
南口・萩山駅北口

受付時間

九時～九時半

コース 各

受付場所 狭

山・境緑道

(水道道路)

多摩湖 約

4・3 Km

八 Km

主催 小平市教育委員会・小

平市民憲章推進協議会健康なまち

専門部会

役員 出発地点受付・観察地点

(A/O) 二十九名、体育課・体

育協会職員七

名

当日は前日

の雨天とはう

って変わって

晴天に恵まれ、

すがすがしい

日になった。
参加者は出発



の合図を待つ時間もどかしく、元氣よく出発。ゴールまで秋風を受け、声をかけ合いながら楽しんでに闊歩。事故もなく終了出来、役員各位に大感謝。予定通り十二時解散した。

参加者百九十八名でした。

第三十八回少年少女マラソン大会

とき 平成二十四年十二月一日
(土)

ところ 中央公園陸上競技場

大変歴史のあるこの大会には、読者の方、あるいはお子様が参加した方もおられると思います。

今年の大会には、小学三年生から六年生までの男女の選手六九〇名の参加があり中央公園にて開催されました。

当日は午前中には小雨の降る天候でした。午後には時折、強い雨となり三年生、四年生には気の毒



な天気でした。それにも負けず雨の中一生懸命に走る姿はすばらしいものでした。

大会の続行

については協議を行い、非常に寒かった為急遽、体育館二階に温かくした休憩室を設け、選手、父兄の方、大勢に利用してもらいました。大きな怪我もなく終了できたことは、関係の方々の努力のおかげと感謝しております。

新春歩け歩けのつどい

とき 平成二十五年一月六日
(日)

今年の新春歩け歩けのつどいは、朝から雲ひとつない天気恵まれ、昨年からの体育協会の勢いそのま



まに、新春から「GO! GO! GO!」と言う五百五十五名の参加者を迎え、スタートしました。衆議院議員、都議会議員、市議会議員や教育委員会関係の来賓も数多く参加してくれました。



歩け歩け参加、五十回二人、八十回二人、百回一人の方々を表彰し、九十歳以上の参加者を紹介して、今年小平市の東部地区約八キロのコースを歩きました。

途中、小平市ふるさと村では、公益財団法人小平市文化振興財団の行為により、甘酒の提供がありました。中間点での甘酒は誰でもが飲めるノンアルコールでしたから、お酒に弱い方からも大好評でした。



市役所に戻ってから

は、東京都ウォーキング協会の方からの「ウォーキングの指導や、足のセルフケア講習」も行われ、たくさんの方が受講していました。今年、体育協会や「スポーツ祭東京2013」関係からたくさんのお土産もあり、参加者は満足な歩け歩けだったことと思います。

体育協会と

しても、この日の天気と参加者数は、今年最初の事業で幸先の良いスタートを切ることが出来たと考えています。



【編集後記】

本号は体育協会の本年度の主な事業を特集しました。原稿は体協役員に分担してお願いしました。ご協力に感謝します。

紙面に制約はありますが、読者に開催状況が分かっていただけだと思います。

次号は加盟団体が開催する教室・講習会を特集する予定です。

体育協会広報部